

キラピピで成鳥を育てよう



準備するもの

- ・成鳥用ケージ
- ・敷き紙
- ・温湿度計
- ・ペット用ヒーター
- ・止まり木
- ・エサ入れ
- ・水入れ
- ・ナスカン(インコの場合)
- ・ケージカバー

温度：20～28℃／湿度：約60%

※巣はジュウシマツやキンカチョウなど一部の種類を除き、繁殖時だけ設置しよう。

7つのポイントを基本にフィンチやインコを飼育してみよう。

ポイント
1

空腹が苦手

脂肪を蓄えられないので長時間の空腹は危険。毎朝エサと水を交換しよう。

ポイント
2

ケージをキレイに

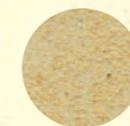
毎朝敷き紙を交換し、フンに異常がないかチェック。週1回ケージを掃除しよう。



栄養+善玉菌を1粒に



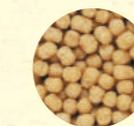
ベビー



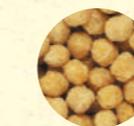
フィンチ



インコ 小粒



インコ 中粒



インコ 大粒



シードからキラピピへの切替え方

ペレットに慣れていない個体は、最初食べないこともあります。飼い主さんが諦めなければ高い確率で食べるようになるので、じっくり取り組んでください。

●成鳥の切替え方

- ①いつものエサ入れにキラピピを入れ、シードを別のエサ入れに移す。
- ②キラピピを食べないときは、午前中だけシードをケージから取り出し、キラピピだけの時間を作りましょう。午後からはシードを戻します。
- ③1週間程度でキラピピを少しずつ食べ始め、2～4週間程度で切替えることができます。

※切替中は摂餌量が減るので体重測定を行い、10%以上体重が減らないように注意してください。稀にペレットをどうしても食べない個体もいます。

- ヒナから育てる場合「キラピピ ベビー」から「キラピピ シリーズ」への切替えは比較的簡単にできます。

キョーリン 株式会社
〒670-0902 姫路市白銀町9番地 Tel.079(289)3739
ホームページアドレス：www.kyorin-net.co.jp

国産 日本国内 自社生産 開発から製造まで 国内自社一貫生産

2018年8月発行

その翼、もっと美しく



KIRAPIPI

国産
日本国内
自社生産

キラピピ(ペレット)で育てる フィンチ・インコの 飼い方

詳しくはこちら



フィンチ・インコ・オウムの種類

(小鳥は意外と長寿です。ずっと健康にいてほしいですね。)

フィンチの品種

色彩や声の美しさを観賞するケージバード
(※手乗りの場合はふれあいも楽しめます)

●ブンチョウ

全長14cm/体重25g/寿命7～8年



美しく丈夫で飼いやすい。手のりフィンチの代表。

●ジュウシマツ

全長10cm/体重10g/寿命6年



性格が温和で丈夫。繁殖しやすい。

●キンカチョウ

全長10cm/体重10g/寿命5年



丈夫でなれやすく、鳴き声が可愛い。

インコ・オウムの品種

知能が高く、ふれあいを楽しむコンパニオンバード

●セキセイインコ

全長20cm/体重35g/寿命8～15年



おしゃべりでなれやすく飼いやすい。

●オカメインコ(オウム)

全長33cm/体重90g/寿命15～18年



温和で寂しがりや。少し神経質。

●コザクラインコ

全長15cm/体重55g/寿命10～15年



別名「ラブバード」愛情深い品種。

●ウロコインコ

全長26cm/体重70g/寿命約10年



陽気よく懐くが、噛む力が強い。

●マメルリハ

全長13cm/体重35g/寿命10～20年



おしとやかで鳴き声が小さめ。

●コガネメキシコインコ

全長30cm/体重110g/寿命約15年



あざやかに遊び好き。鳴き声が甲高い。